

2003年6月3日

株式会社ディーツーコミュニケーションズ

## **「第2回 モバイル広告大賞」決定**

株式会社ディーツーコミュニケーションズ(社長:藤田明久、本社:東京都中央区、以下D2C)は、モバイルを利用した広告コミュニケーション及びマーケティング活動の一層の普及を願い「モバイル広告大賞」を2002年に創設いたしました。このたび、「第2回 モバイル広告大賞」の選考を行い、モバイル広告マーケティング部門 マーケティング賞は5社、モバイル広告表現部門クリエイティブ賞は10社(カラーピクチャー広告:5社、モノクロピクチャー広告:5社)の計15社が受賞しました。なお、加えて、初の海外からの応募作品に対して国際参加賞1社の受賞が決定しました。

今回の選考対象は、2002年4月1日から2003年3月31日までに、iモードなどのインターネット接続機能付き携帯電話に配信、掲出されたモバイル広告、および携帯電話を利用したモバイル・マーケティング事例であり、応募総数は82点となりました。受賞企業は以下のとおりです。

### 【マーケティング部門 マーケティング賞】(5社)(50音順)

グリコ乳業株式会社  
サントリー株式会社  
株式会社ジーンズメイト  
日本電気株式会社  
株式会社ローソン(株式会社アイ・コンビニエンス)

### 【表現部門 クリエイティブ賞】(50音順)

#### 【カラーピクチャー広告】(5社)

株式会社駅前探険倶楽部  
株式会社サイバード  
全日本空輸株式会社  
株式会社第一興商  
ヤマハ株式会社

#### 【モノクロピクチャー広告】(5社)

株式会社ジー・モード  
株式会社ドワンゴ  
株式会社ナムコ  
株式会社バローズ  
ヤマハ株式会社

### 【国際参加賞】

s.Oliver Bernd Freier GmbH & Co.KG. (Germany)



選考は、慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授 嶋口 充輝氏を委員長とするモバイル広告大賞選考委員会を発足し、各部門の審査員会にて行いました。

マーケティング部門では、iモードのiアプリを活用したものや、インスタントウィン、CRMまで踏み込んだキャンペーンや、モバイルサイトにコミュニティを形成したものなど、技術面およびコンセプト面において、優れていると評価された応募事例が受賞しました。

表現部門では、カラー液晶端末の普及に伴い、ピクチャー広告もカラー化が始まりましたが、配色のバランスが良い作品や、既存のロゴを巧みにデザインした作品が高い評価を得ました。モノクロの作品では、キャラクターを魅力的に表現したものや、テキスト(キャッチコピー)が目を引く作品が評価されました。

---

嶋口充輝選考委員長の講評: 昨年の第1回選考会では、モバイルのパーソナル性をいかに生かしているかということが主要な選考基準でしたが、昨今は携帯電話の高機能化も著しく、今回は、それらの新しい機能をいかに活用しているかという視点を新たに加えて審査が行われました。その視点から考えますと、今回、両部門に寄せられた作品は飛躍的な進化を感じさせるものが多かったと言えます。モバイルの技術革新は日進月歩で進んでいますが、今後も、モバイルの新しい技術や機能を生かすマーケティング手法が登場してくることにより、企業のマーケティング活動が活発化することを期待します。

---

「モバイル広告大賞」贈賞式は、6月11日に東京・港区の「品川プリンスホテル エグゼクティブタワー」で行います。

「モバイル広告大賞」は、表現部門とマーケティング部門の二部で構成されています。毎年1度実施し、iモードをはじめとする、インターネット接続機能付き携帯電話に配信・掲出された広告の中で表現の優れているもの、モバイルを利用したマーケティング活動において、優れているものを選出させていただき、広告主および担当広告会社などを表彰させていただくものです。

なお、2004年の「第3回モバイル広告大賞」では、海外部門の設立も予定しております。

受賞企業の具体的なキャンペーン内容およびピクチャー広告表現、審査員紹介については、右記URLにて本日より掲載いたします。 <http://www.d2c.co.jp/news/award/>

- \* 別紙1:「第2回モバイル広告大賞」受賞一覧
- \* 別紙2:モバイル広告大賞選考委員会 各審査員の紹介

本件お問い合わせ先

株式会社ディー・ツー・コミュニケーションズ

広報担当 佐藤(孝)・水野・高橋

TEL:03-3538-8214 FAX:03-3538-8216

URL: [www.d2c.co.jp](http://www.d2c.co.jp) mail: [press@d2c.co.jp](mailto:press@d2c.co.jp)

## 「第2回 モバイル広告大賞」受賞一覧

(50音順)

受賞部門	社名	キャンペーン名	広告会社名	制作会社名
マーケティング部門 マーケティング賞	グリコ乳業株式会社	ブッチンプリン30周年キャンペーン ブッチンパンダと遊ぼうモバイル企画	株式会社大広	スパイシーソフト株式会社 / イー・アンド・エム株式会社 / 株式会社サイバー・コミュニケーションズ
マーケティング部門 マーケティング賞	サントリー株式会社	「スグBOSS」キャンペーン	株式会社電通	株式会社電通テック
マーケティング部門 マーケティング賞	株式会社ジーンズメイト	ケータイを活用したCRMへの取組		
マーケティング部門 マーケティング賞	日本電気株式会社	NTTドコモ「ムーバN251i」を買って送ろう！ 「i-shotでいっしょ！」キャンペーン	株式会社博報堂	株式会社ディー・ツー・コミュニケーションズ
マーケティング部門 マーケティング賞	株式会社ローソン(株式会社アイ・コンビニエンス)	謎のローソン部 サンドイッチプロジェクト		株式会社アイ・コンビニエンス
表現部門 クリエイティブ賞 カラー	株式会社駅前探険倶楽部	3月ダイヤ改正告知	株式会社アサツー ディ・ケイ	株式会社駅前探険倶楽部
表現部門 クリエイティブ賞 カラー	株式会社サイバード	スター・ウォーズ公式サイトオープン記念 R2-D2着信音プレゼントキャンペーン	株式会社日広	株式会社サイバード
表現部門 クリエイティブ賞 カラー	全日本空輸株式会社	全国どこでも1万円「超割」プロモーション	株式会社電通	全日本空輸株式会社
表現部門 クリエイティブ賞 カラー	株式会社第一興商	504!S & もるもるイものあげちゃう！！キャンペーン！	電通ヤング・アンド・ルビカム株式会社	株式会社ゼイヴェル
表現部門 クリエイティブ賞 カラー	ヤマハ株式会社	無料会員コース立ち上げキャンペーン	株式会社電通	株式会社デジタルデザインラボラトリー
表現部門 クリエイティブ賞 モノクロ	株式会社ジー・モード	公式サイト 入会促進キャンペーン	株式会社日本経済広告社	株式会社ジー・モード
表現部門 クリエイティブ賞 モノクロ	株式会社ダウンゴ	公式サイト 40xロミックス 入会促進キャンペーン		株式会社日経エージェンシー
表現部門 クリエイティブ賞 モノクロ	株式会社ナムコ	「ナムコランド」ゲーム祭り。新作アプリがゾクゾク。	株式会社大広	株式会社ナムコ
表現部門 クリエイティブ賞 モノクロ	株式会社バロース	「シノヤマキシン@」オープニングキャンペーン	株式会社大広	
表現部門 クリエイティブ賞 モノクロ	ヤマハ株式会社	映画スパイダーマンタイアップキャンペーン	株式会社電通	株式会社デジタルデザインラボラトリー

## モバイル広告大賞選考委員会 各審査員の紹介

### モバイル広告大賞選考委員長

・嶋口 充輝

慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授

(略歴)1967年 慶應義塾大学経済学部卒業同年フルブライト奨学生として渡米1975年慶應義塾大学、ミシガン州立大学の修士・博士課程修了後、経営学博士(Ph.D.)に。1987年より、現職。

(ルーベン大学(ベルギー)、ウエスタン・オンタリオ大学(カナダ)、モスクワ大学(ロシア)の各大学院客員教授を歴任)

主な著書:Marketing Channels in Japan (The UMI Research Press)戦略的マーケティングの論理(誠文堂新光社)統合マーケティング(日本経済新聞社)、顧客満足型マーケティングの構図、営業の本質(共著)(有斐閣)、インタラクティブマネジメント(共著)(ダイヤモンド社)、柔らかなマーケティングの論理(ダイヤモンド社)、マーケティング革新の時代 全4巻(共著)(有斐閣)、マーケティング・パラダイム(有斐閣)など多数。

### マーケティング部門

・審査員長 嶋口 充輝

慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授 (モバイル広告大賞選考委員長兼務)

・審査員 恩蔵 直人

早稲田大学 商学部 教授

(略歴)早稲田大学商学部を卒業の後、同大学大学院商学研究科へ進学。早稲田大学商学部専任講師、同助教授を経て、1996年より現職。

専攻:マーケティング。博士(商学)

主要業績:競争優位のブランド戦略(日本経済新聞社)、製品開発の戦略論理(文一総合出版)、マーケティング戦略(共著)(有斐閣)、コラーのマーケティング入門(監修)(ピアソンエデュケーション)、コラーのマーケティング・マネジメント(監修)(ピアソンエデュケーション)、戦略的ブランド・マネジメント(共訳)(東急エージェンシー)ほか論文多数。

・審査員 佐々木 一人

株式会社富士通総研 S & Cコンサルティング事業部 事業部長(主席研究員) プリンシパルコンサルタント

(略歴)1958年秋田県生まれ、国立千葉大学工学部卒。全日本テレビサービス(株)(現株NHKアイテック)、(株)長銀総合研究所を経て、1998年11月より(株)富士通総研(2003年4月より現職)。情報通信・放送産業ならびに関連事業分野の調査研究やコンサルティング、アドバイザー、講演、執筆活動に従事。主な著書に「ケータイビジネス2001」、「ブロードバンドビジネス2002」(ソフトバンクパブリッシング)などがある他、テレビ、ラジオのコメンテーター、新聞・雑誌等への記事、コメント掲載も多数。

## ・審査員 田中 里沙

株式会社宣伝会議 月刊「宣伝会議」編集長

(略歴)1966年生まれ。89年学習院大学卒業後、広告会社を経て93年株式会社宣伝会議入社。月刊「宣伝会議」編集部配属。企業宣伝部、広告会社担当記者、海外情報デスクなどを担当。95年副編集長を経て、96年より編集長、現在に至る。

2003年より季刊誌「環境会議」「人間会議」編集長を兼任。日本広報協会広報アドバイザー。全国広報コンクール・広報紙企画部門審査委員。全国消防コンクール審査員。PRアワード(日本PR協会主催)審査員、広告電通賞テレビ部門・雑誌部門審査員、JR 東日本ポスターグランプリ審査員などを務める。情報・流行分析・エンタテインメント系のテレビ番組にコメンテーターとして出演。

## **表現部門**

## ・審査員長 内山 光司

株式会社ワンスカイ インタラクティブ クリエイティブ ディレクター

(略歴)1961年生まれ。1984年株式会社電通入社後、電通のデジタル事業関連部署で、数々のデジタルコンテンツの企画・ディレクションを行う。2001年(株)ワンスカイ設立 取締役兼クリエイティブ・ディレクターに就任。インフォメーションデザインとクリエイティブ性を活かした手法で、主に広告キャンペーンの分野でウェブサイト制作およびマーケティングコンサルを手がける。NTT東日本のガッチャマン・キャンペーン、ソニーのConnected\_Identity/CAMCAMP、富士重工業のスバルフォレスター/レガシのサイトなどを企画制作。

TokyoInteractive Ad Award グランプリ、One Show Interactive Gold Pencil、文化庁メディア芸術祭優秀賞、グッドデザイン賞他で受賞多数。

## ・審査員 秋山 具義

有限会社デイリー・フレッシュ 代表取締役 / アートディレクター

(略歴)1966年東京生まれ。1990年日本大学芸術学部卒業。同年I&S入社。1999年DairyFresh設立。

おもな仕事にパルコ、東京ドーム、J-WAVE、キリンビバレッジ「アミノサプリ」パッケージデザイン、「ニューステーション」(テレビ朝日)ロゴデザイン、米倉涼子「TOUGH」(朝日出版社)、長島有里枝「PASTIME PARADISE」、HIROMIX「HIROMIX PARIS」、ユニクロの食品事業「SKIP」、「広告批評」のアート・ディレクション。ほか多数。

## ・審査員 末松 亜斗夢

株式会社アトム、株式会社ユビキタス、オンティービー株式会社 代表取締役社長

(略歴)1957年福岡市出身。桑沢デザイン研究所写真研究科卒業、広告制作会社を経て1983年株式会社アスキー入社。3DCGの映像制作、インタラクティブメディアの開発に従事。以降、コンピュータ関連にフォーカスしたグラフィックデザイン業務にかかわる。1988年アップルコンピュータジャパンでMacintosh DTPマーケティングを担当。その後独立しマルチメディア関連の制作と執筆、啓蒙活動を行う。1994年春、国内初のwebプロダクション業務を開始。以降Webを中心に3DCG、広告SP、CM、TV番組制作、CD-ROMなどデジタル系制作プロダクションとして現在に至る。

・審査員 野田 凧

宇宙カントリー アートディレクター / 映像ディレクター

(略歴)I&S、大貫デザイン、サン・アドを経て、2003年宇宙カントリー設立。

1999年TDC賞、2001年ADC賞、2002年TDC会員賞、NYADC銀賞、2003年TDC会員賞受賞他。

主なグラフィックの仕事:NIKE、ラフォーレ原宿、サントリー ラテラテ、サントリー ウーロン茶キャンペーン パンダのAIBO、全日空、講談社、YUKI CDジャケット、宇多田ヒカルCDジャケット等。

主なPV/CFの仕事:YUKIプロモーションビデオ「スタンドアップ! シスター」「センチメンタルジャーニー」「ハミングバード」、ラフォーレ原宿、サントリー - ラテラテ、サントリー - HOTラテラテ、サントリー ウーロン茶キャンペーンパンダのAIBO。

・審査員 松井 英一

株式会社宣伝会議 取締役 環境・人間会議事業部長

(略歴)宣伝会議入社後 教育部門、コピーライター養成講座、SPプランナー養成講座、アートディレクター養成講座等を担当。1998年関西本部長、名古屋本部長 2000年月刊「ブレン」編集長。2001年12月環境・人間会議事業部長、月刊「環境マーケティング&ビジネス」編集長として現在に至る。